

70th
Anniversary
NARITA
成田市制施行70周年記念誌

軌跡

— 成田市70年のあゆみを未来へ繋ぐ —





目次

Contents

成田を彩る四季と祭り	2
成田市70年の軌跡	6
昭和29年～48年	6
昭和49年～平成5年	8
平成6年～25年	10
平成26年～31年	12
令和元年～6年	14
成田市制施行70周年記念事業	16

成田市のプロフィール

千葉県の北部中央に位置する成田市は、北はとうとうと流れる利根川を隔てて茨城県と接し、西は県立自然公園に指定されている印旛沼、東は香取市と接しています。

市の西側には根木名川、東側には大須賀川が流れ、それらを取り囲むように広大な水田地帯や肥沃な北総台地の畑地帯が広がっています。北部から東部にかけての丘陵地には工業団地やゴルフ場が点在し、南には日本の空の玄関口・成田空港があります。

また、市の中心部である成田地区は1,000年以上の歴史がある成田山新勝寺の門前町として栄え、毎年多くの参詣客でにぎわいます。

面積／213.84km²
人口／133,094人
世帯数／67,358世帯
(令和6年9月末日現在)



成田市は、昭和29年3月31日に誕生し、現在、人口13万人余を有する市となりました。

これまでの市民の皆様の深い郷土愛とたゆまぬ努力と研さんが、本市の発展を支え、市制施行70周年という記念すべき年を迎えられたことは、誠に慶賀に堪えない次第であります。

近年の社会経済情勢の影響を受け、地方自治体を取り巻く状況は大きく変化しております。本市は、北総地域の中核都市として着実な発展を遂げてまいりましたが、今後も更なる成長を遂げるためには、本市の特性を生かした持続可能な将来を見据えたまちづくりを進める必要があります。

現在進められている成田空港の更なる機能強化により、国際競争力の強化

や空港利用者の利便性向上が図られ、人やモノの流れがさらに活発になるとともに、空港周辺地域への企業の進出や雇用の拡大などが期待されております。本市といたしまして、成田空港の更なる機能強化に対応すべく、企業立地の受け皿確保策を積極的に展開するとともに、居住環境の整備や広域道路ネットワークの強化などに取り組んでいくところであり、空港と共に発展するまちづくりを引き続き推進してまいります。

このような中、「人を繋ぐ歴史を繋ぐ未来へ繋ぐみんなの成田」をテーマに、先人たちの努力により築き上げられた成田を再認識し、本市の豊かな自然、伝統や文化、産業などを活用していくことで、我がふるさと成田をこれまでも以上に輝かせるとともに、本市の将来都市像である「住んでよし働いてよし訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」の実現に向け、全力で取り組んでいく所存であります。

今後とも、本市の更なる発展のために、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



成田市長 小泉 一成

市制施行70周年を迎えて



夏

宗吾霊堂紫陽花まつり

宗吾霊堂大本堂裏手に広がるあじさい園には、約7,000株のさまざまな品種のアジサイが植えられています。期間中、境内では箏や二胡の演奏が行われます。



成田祇園祭

成田山新勝寺の御輿と10台の山車・屋台が3日間にわたり参道周辺を巡行し、踊りとお囃子の競演が行われます。40万人を超える見物客が集まる、成田の夏の一大イベントです。



6月

上旬～下旬 宗吾霊堂紫陽花まつり

7月

上旬 成田祇園祭

中旬～8月下旬 成田うなぎ祭り

8月

9日 滑河観音四万八千日

23日・24日 成田山みたま祭り盆踊り大会

エアポート観光

飛行機を間近で見られる「展望デッキ」のほか、和洋中さまざまな料理を味わえるレストラン、お土産やゲーム・アニメのキャラクターグッズのショップなどがそろっています。また、ターミナルビルの各所には壁画や彫刻、ステンドグラスなどのアート作品も配置されていて、飛行機を待つ時間も楽しみながら過ごすことができます。



4月

3日 成田のおどり花見

中旬 成田太鼓祭

中旬～下旬 不動の大井戸茶会

29日 小御門神社春の例大祭

5月

上旬 成田山平和大塔まつり
奉納総踊り

下旬 成田伝統芸能まつり春の陣



成田伝統芸能まつり春の陣

「歌舞伎のまち成田で出会う日本の伝統」をテーマにした、歌舞伎公演が中心のイベントです。全国各地のキャラクターが集結する「ご当地キャラ成田詣」も同時開催します。



成田太鼓祭

関東を中心に全国各地から実力派の演奏者が集結する、日本屈指の太鼓の祭典として知られています。2日間にわたり和太鼓の重厚な音色が響き渡ります。



成田山平和大塔まつり 奉納総踊り

昭和59年4月に建立された「成田山平和大塔」の落慶を記念して始められました。旧成田町7町の女人講をはじめ、市内各団体がそろいの浴衣姿で、成田山表参道や平和大塔などで踊りを奉納します。

成田を彩る四季と祭り

豊かな自然と四季折々の美しい景観に恵まれている成田市。そして、成田山新勝寺と成田空港を擁し、たくさんの観光客が訪れるこのまちでは、季節の訪れを告げる祭り、伝統に彩られた祭り、由緒ある民俗行事など、一年を通してさまざまなイベントが開催されています。

春



冬



初詣

日本有数の霊場である成田山新勝寺には、全国から大勢の参詣客が訪れ、参道に並ぶ店舗も合わせて大いに活気づきます。

節分会

成田山新勝寺では大相撲力士や芸能人が参加する豆まき式が開かれ、宗吾霊堂では豆まきのほか、はしご乗りの実演が披露されます。



12月

28日 納め札お焚き上げ柴灯大護摩供

1月

初詣

2月

上旬 節分会

中旬～3月上旬 成田の梅まつり



成田の梅まつり

梅の花が見頃を迎える時期、成田山公園で開催されます。公園内の西洋庭園では津軽三味線や箏、尺八、二胡による演奏、梅林では野だてが行われます。



成田山表参道

成田山新勝寺への参詣客で古くからにぎわってきた表参道。JR・京成成田駅から成田山新勝寺総門までの約800mにわたり、多数の飲食店や土産物店が軒を連ねています。「日本遺産」認定の江戸情緒ある町並みは、国内外を問わず、多くの人々に親しまれています。

成田弦まつり

成田山新勝寺の境内や成田山表参道に設けられたステージで、津軽三味線をはじめとする、さまざまな弦楽器が演奏されます。若手三味線奏者による発表会「けやぐ三味線バトル」や、「門前成田寄席」「踊り継がれる成田のをどりパレード」など多彩な催しも行われます。



成田を彩る四季と祭り

9月

第1日曜 御待夜祭

中旬 成田伝統芸能まつり秋の陣

10月

中旬 成田弦まつり

20日～11月15日 成田山菊花大会

11月

上旬 NARITA花火大会in印旛沼

上旬～下旬 成田山公園紅葉まつり



御待夜祭

宗吾霊堂に祭られた義民・佐倉宗吾(木内惣五郎)の御霊を慰めるためのお祭りです。屋台が曳き廻されるほか、多数の露店が境内に並び、大勢の人でにぎわいます。



成田伝統芸能まつり秋の陣

阿波おどりや秋田竿燈まつりなど、市内外から伝統芸能団体が集まり、多種多様な祭りや踊りといった伝統芸能を披露します。その地に行かなければ見ることができない伝統芸能の迫力を、成田で堪能することができます。

秋

成田市

70年

の軌跡

昭和29年3月31日、成田町を中心に公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の1町6村が合併し、県下11番目の市として、成田市が誕生しました。そして、平成18年3月27日に下総町、大栄町と合併し、北総地区の中核都市として発展してきました。70年にわたる歴史の中で、先人たちが残した輝かしい軌跡を振り返ります。

成田市の誕生と国際空港の建設決定

昭和29年3月に誕生した成田市。昭和41年7月には、国際空港が建設されることが閣議決定され、大きな転機を迎えます。空港建設予定地に入る下総御料牧場の移転のほか、高速道路や鉄道といった市内外を結ぶ交通網などの整備が、空港建設という大きな目標に向けて、進められていきました。



②

昭和29年～48年

1954-1973



③



④



⑤



⑥

①市制施行祝賀式が成田小学校の講堂で開催される ②三里塚を中心とする地区に空港を設置することが閣議決定される ③市庁舎が完成 ④東京オリンピックの聖火が市内を通過 ⑤甲子園で入場行進する成高ナイン ⑥整備が進む成田ニュータウン

	3月	1町6村が合併して成田市が誕生
昭和29年(1954)	5月	市章を制定
	7月	市制施行祝賀行事を開催①
昭和30年(1955)	3月	第1回市議会議員選挙を執行
	8月	成田高校が夏の甲子園に出場⑤
昭和33年(1958)	10月	市庁舎落成と市制施行5周年記念式典を開催③ 「世界連邦平和都市」を宣言
昭和37年(1962)	4月	千葉～水戸線が1級国道(51号)に
昭和38年(1963)	1月	正月の交通規制を開始
	4月	成田のおどり花見が県の無形民俗文化財に指定
昭和39年(1964)	5月	市制施行10周年記念式典を開催
	10月	東京オリンピックの聖火が通過④
昭和40年(1965)	4月	成田市消防本部・消防署を設置
昭和41年(1966)	7月	新空港を三里塚に設置することが閣議決定②
	1月	甚兵衛大橋が開通
昭和43年(1968)	2月	長豊橋が開通
	3月	成田山新勝寺大本堂が落慶 国鉄千葉～成田間が電化
	5月	国道51号の佐倉～佐原間の舗装が完成
昭和44年(1969)	8月	下総御料牧場が栃木県に移転
	12月	成田ニュータウンの整備が始まる⑥
昭和46年(1971)	4月	市の木に「梅」を指定
	11月	成田市民憲章を制定
昭和47年(1972)	8月	東関東自動車道の富里～成田間が開通
昭和48年(1973)	10月	若潮国体が開催

コラム・記憶の扉 1

市章を制定



中央の輪に、周囲の6つの輪が重なる当時の成田市の市章。1町6村の大同団結を意味しています。図案は一般公募で集まった作品の中から選ばれ、昭和29年5月7日に制定されました。平成18年4月29日に現在の市章が制定されるまで使用されました。

成田空港が開港

昭和53年、成田空港が開港します。閣議決定から12年後のことでした。当初3月に予定されていた開港は反対派による管制塔占拠事件が発生したため延期され、5月20日、厳戒態勢の中の開港となりました。翌21日にはロサンゼルスからの貨物便と、フランクフルトからの旅客便が着陸し、22日にはゲアムに向けて成田からの旅客の出発1番機も離陸。「日本の空の玄関口」として幕を開けた瞬間でした。

国際空港都市として発展

昭和61年、運輸省(現・国土交通省)から「国際観光モデル地区」に指定された成田市では、成田観光館をオープンさせるなど、外国人旅行者が観光しやすいように整備が進められていきました。その後、昭和63年には中国・咸陽市との友好都市を、平成2年には米国・サンブルーノ市との姉妹都市を締結するなど、国際空港都市として発展を遂げていきました。



①開港前の成田空港 ②フランクフルトから到着した旅客便1番機 ③中国・咸陽市と友好都市を締結 ④成田山開基1050年祭での豪華絢爛なお練り ⑤米国・サンブルーノ市と姉妹都市を締結 ⑥雨の日でも競技ができる全天候型の陸上競技場

昭和49年(1974)	6月 公設地方卸売市場青果部を開設 11月 国鉄成田～松岸(銚子市)間が電化
昭和50年(1975)	3月 市制施行20周年と国際文化会館落成の記念式典を開催 4月 成田山新勝寺光輪閣が落慶
昭和52年(1977)	6月 県・市で空港アクセス成田対策本部を設置
昭和53年(1978)	5月 成田空港が開港①② 新空港自動車道が開通 8月 郷部大橋が開通
昭和54年(1979)	4月 中央公民館がオープン
昭和56年(1981)	2月 成田橋が開通 10月 三里塚御料牧場記念館がオープン 11月 産業まつりを開催
昭和58年(1983)	6月 中台運動公園陸上競技場(現・重兵衛スポーツフィールド中台陸上競技場)がオープン③
昭和59年(1984)	4月 市制施行30周年記念式典を開催 成田山新勝寺平和大塔が落慶 6月 市体育館(現・重兵衛スポーツフィールド中台体育館)がオープン 10月 市立図書館がオープン
昭和60年(1985)	2月 東関東自動車道の成田～大栄間が開通
昭和61年(1986)	3月 運輸省から「国際観光モデル地区」に指定される 4月 国鉄成田駅西口広場がオープン
昭和62年(1987)	2月 取香の三番叟が県の無形民俗文化財に指定 4月 成田山開基1050年祭記念行事が開催④ 成田観光館がオープン
昭和63年(1988)	9月 中国・咸陽市と友好都市を締結⑤ 11月 市役所新庁舎で業務を開始
平成2年(1990)	10月 米国・サンブルーノ市と姉妹都市を締結⑥
平成4年(1992)	7月 京成成田駅東口地下自由通路が開通 12月 成田空港第2旅客ターミナルビルがオープン 八富成田斎場が開場
平成5年(1993)	5月 防災行政無線が供用開始

コラム・記憶の扉 2

新庁舎(現庁舎)のオープン

昭和33年に建設された成田市庁舎(旧庁舎)は、成田空港の開港などに伴う人口増加や行政需要の拡大によって手狭になっていました。そこで、昭和62年から新庁舎(現庁舎)を建設。翌63年に完成した行政棟と議会棟で業務を開始しました。効率的で使いやすく、市民の皆さんに親しまれる施設となるよう整備されました。



表参道の活性化と発展

平成6年、仲町街づくり協議会が主体となって「感動成田劇場（現・成田太鼓祭）」が始まりました。翌7年には成田商工会議所が主体となり「御利生祭（現・成田弦まつり）」が開催され、成田にゆかりのある人物をテーマにした仮装行列「成田時代絵巻」が多くの人を楽しませました。平成8年からは表参道整備事業が始まり、上町地区で道幅の拡張を行うセ Tobak 事業を実施。平成13年には仲町地区から電線類の地中化事業が行われ、平成18年には J R・京成成田駅参道口までの工事が完了し、町並みの景観が大きく変わりました。

下総町・大栄町との合併

「平成の大合併」をめぐった協議の末、下総町と大栄町が成田市との合併に同意、平成18年3月27日に合併しました。同年4月には国際文化会館で合併記念式典が開催され、成田小学校合唱部などによる記念コンサートや伊能歌舞伎の記念公演などが披露されました。平成21年には、市の観光キャラクター「うなりくん」が誕生。翌22年には特別住民票が交付され、「成田市特別観光大使」に任命されました。愛らしい姿で市の観光 P R に活躍しています。



①成田山総門の落慶を祝う ②成田太鼓祭の前身の「感動成田劇場」を開催 ③成田にゆかりのある人物がテーマの仮装行列 ④成田国際高校吹奏楽部による記念コンサート ⑤「成田市特別観光大使」うなりくん ⑥空港から都心まで最短36分で結ぶ

平成6年(1994)	4月	市のシンボルマークを制定し、市の花に「あじさい」を指定
		公津の杜駅が開業
	11月	感動成田劇場を開催② 市制施行40周年記念式典を開催
平成7年(1995)	2月	「非核平和都市」を宣言
	11月	御利生祭を開催③
平成10年(1998)	4月	成田山開基1060年祭記念行事が開催 全国門前町サミットを開催
	9月	韓国・仁川広域市中央区と友好都市を締結
平成12年(2000)	4月	さくらの山がオープン
平成13年(2001)	2月	仲町の参道で電線地中化工事が開始
	9月	全国義民サミットが開催
平成14年(2002)	1月	韓国・井邑市と友好都市を締結
	4月	成田空港暫定平行滑走路が供用開始
	7月	保健福祉館がオープン
平成15年(2003)	7月	囲護台のなかよしトンネルが開通
平成16年(2004)	4月	市川海老蔵襲名披露で成田山新勝寺へお練り行列 成田山車まつりを開催
	11月	市制施行50周年記念式典を開催。十二代目市川團十郎さんと室伏広治さんに市民栄誉賞を授与
平成17年(2005)	3月	下総町・大栄町との合併協定に調印
	4月	コミュニティバスの運行を開始
	10月	上町地区が国土交通省都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」を受賞
	11月	成田市の人口が10万人を突破
平成18年(2006)	3月	下総町・大栄町と合併
	4月	合併記念式典を開催。新市章と市民の日を制定④
	10月	ナンバープレートに「成田」が導入される
平成19年(2007)	11月	成田山新勝寺総門が落慶①
平成20年(2008)	4月	成田山開基1070年祭記念行事が開催
	6月	市役所で休日窓口サービスを開始
平成21年(2009)	10月	延伸された成田空港B滑走路が供用開始
	11月	成田市観光キャラクターが「うなりくん」に決定⑤
平成22年(2010)	7月	成田スカイアクセス線と成田湯川駅が開業⑥
	8月	成田高校が夏の甲子園に出場し、58年ぶりのベスト4
平成23年(2011)	3月	東日本大震災が発生し、市内で震度6弱を観測
平成24年(2012)	10月	成田富里いずみ清掃工場が完成

コラム・記憶の扉 3

暫定平行滑走路の供用を開始

平成14年4月、成田空港の2本目の滑走路である暫定平行滑走路の供用が開始されました。滑走路が増えたことで、年間の発着枠は13万5,000回から20万回となり、国際線・国内線合わせ新規乗り入れの航空会社が14社増加。空港としての利便性が向上するだけでなく、空港関連産業の従業員の雇用拡大にもつながりました。



平成26年(2014)	1月	成人式を初めて成田空港で開催④
	3月	市が「国家戦略特区」に選定(5月1日に指定)
	4月	北総地区初の小中一貫教育校「下総みどり学園」が開校
	11月	市制施行60周年記念式典を開催 日本の祭りin成田・ご当地キャラ成田詣を開催
平成27年(2015)	3月	空の駅さくら館がオープン
	4月	成田空港第3ターミナルビルが供用開始
	6月	圏央道の神崎～大栄間が開通 文化芸術センターがオープン⑤
	7月	十一代目市川海老蔵(現・十三代目市川團十郎白猿)さんが成田市御案内人に就任
	8月	世界少年野球大会を開催② 世界陸上アメリカチームが事前キャンプを実施
平成28年(2016)	11月	成田伝統芸能まつりを開催
	2月	仲之町の山車が台湾・桃園市で開催された「台湾ランタンフェスティバル」で曳き廻される
	4月	国際医療福祉大学成田キャンパスの開学式・入学式を開催 「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市・香取市・鉾田市とともに日本遺産に認定される
	8月	本市出身の田中智美選手がリオデジャネイロオリンピック・女子マラソンに出場
平成29年(2017)	9月	台湾・桃園市と友好都市を締結
	2月	北千葉道路の若萩(印西市)～北須賀間が開通
	4月	豊住中学校の跡地に「豊住ふれあい健康館」がオープン 国際医療福祉大学が医学部を開設①
	11月	ゆるキャラ® グランプリで、うなりくんがグランプリに輝く⑥
平成30年(2018)	4月	成田山開基1080年祭記念行事が開催③
	8月	世界女子ソフトボール選手権大会が開催
	10月	JR成田駅前広場で「成田からくり時計」がお披露目
平成31年(2019)	3月	ニュータウン中央線の玉造～松崎間が開通 北千葉道路の船形～押畑間が開通
	4月	中郷小学校の跡地に中郷ふるさと交流館がオープン

コラム・記憶の扉 4

国家戦略特区に指定

国家戦略特区とは“世界で一番ビジネスをしやすい環境”を作ることを目的に、地域や分野を限定し、大胆な規制・制度の緩和などを行う規制改革制度です。成田市は、国際医療学園都市構想とエアポート都市構想を提案し、東京圏(国際ビジネス、イノベーションの拠点)の一部として、平成26年5月に国家戦略特区に指定されました。



①入学式で誓いの言葉を述べる新入生代表 ②バッティングの指導をする王貞治さん ③JR成田駅前の整備が進む ④成田空港で初めて開催された「成人式」 ⑤ゆるキャラ® グランプリで、うなりくんが悲願の日本一を達成 ⑥十一代目市川海老蔵(現・十三代目市川團十郎白猿)さんと堀越勸玄(現・八代目市川新之助)くん親子によるお練り



平成26年～31年

2014-2019



国際医療福祉大学成田キャンパスの開学

平成28年4月、公津の杜駅前に開学した国際医療福祉大学成田キャンパス。翌29年4月には、医学部が開設されました。長らく認められてこなかった医学部の開設は、首都圏では実に43年ぶりのことでした。国際性を重視した医学教育により、地域医療の担い手に加え、グローバルな医療人材を育成するキャンパスが生まれました。

国際的なスポーツ大会が成田市で開催

平成27年8月、中国・北京で開催された世界陸上。この大会に出場するアメリカチームが成田市で事前キャンプを行いました。そのほかにも、同月には世界16の国と地域から約340人の子どもたちが出場した「世界少年野球大会」、平成30年8月には日本代表が参加16チーム中2位に輝いた「世界女子ソフトボール選手権大会」と、国際的なスポーツ大会の会場となりました。

令和元年(2019)	5月	遠山小学校周辺の林「駒の森」での地域や児童による自然保護活動が文部科学大臣賞を受賞
	11月	女子レスリングワールドカップが開催③
令和2年(2020)	3月	国際医療福祉大学成田病院が開院④
	5月	新型コロナウイルス感染症対策として市独自の支援を開始
	8月	アイルランドパラリンピック委員会との「レガシー協定」の調印式をオンラインで実施
令和3年(2021)	11月	2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言
	1月	成田市新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置
	2月	市とアイルランドによる共生社会推進イベント「PARA Beats! 勇気を奏でよう。」を開催⑤
	4月	市内で2校目の義務教育学校「大栄みらい学園」が開校
	7月	東京オリンピックに出場する4チームが中台運動公園(現・重兵衛スポーツフィールド中台)で事前キャンプを実施
	8月	東京パラリンピックに出場するアイルランドチームが中台運動公園(現・重兵衛スポーツフィールド中台)で事前キャンプを実施⑥
	9月	東京オリンピックで金メダルを獲得した橋本大輝選手に市民栄誉賞を授与①
令和4年(2022)	10月	東京オリンピックで銅メダルを獲得した並木月海選手に市民栄誉賞を授与②
	11月	成田市民憲章制定50周年記念式典を開催
	1月	天神峰地区に新生成田市場が移転開場⑦
令和5年(2023)	4月	滑河小学校の跡地に滑河文化財保存展示施設をオープン
	5月	成田伝統芸能まつり春の陣を開催
	10月	十三代目市川團十郎白猿の襲名を前に、十一代目市川海老蔵として最後の舞台を成田山新勝寺で披露
令和6年(2024)	3月	共生社会推進プロジェクト「PARA Beats!」が、スポーツを通じた国際交流の取り組みとして評価され、スポーツ庁長官表彰を受ける⑧
令和6年(2024)	4月	東小学校跡地複合施設の一部として体育館棟がオープン
	9月	パリオリンピックで金メダルを獲得した橋本大輝選手に市長特別賞を授与



①3つのメダルを首から下げ市民栄誉賞を受け取る橋本選手 ②笑顔で市民栄誉賞を手にする並木選手 ③日本代表選手らによる熱戦が繰り広げられた ④畑ケ田に開院した国際医療福祉大学医学部の付属病院 ⑤アイルランドの民族楽器と和太鼓のセッション ⑥公開練習をするアイルランドチームの選手 ⑦新鮮な食材が並ぶ ⑧成田高校出身の室伏スポーツ庁長官から賞状の授与



令和元年～6年

2019—2024

災害・感染症による甚大な影響

令和元年、9月・10月に2つの大型台風が千葉県に上陸。市内でも各地で倒木や浸水が発生しました。令和2年には、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行。同年3月には、当初の予定を1カ月前倒しして国際医療福祉大学成田病院が開院し、多くの患者を受け入れ、治療に当たりました。

オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地に

令和3年、コロナ禍による1年の延期を経て、東京オリンピック・パラリンピックが開催。両大会に向け、海外チームによる事前キャンプが行われました。オリンピックに向けてカナダ女子サッカー・オランダ男子3×3バスケットボール・オーストラリア陸上・スロベニア陸上のチームが、パラリンピックに向けてアイルランドのチームが市内で調整を行いました。オリンピックには、成田市出身の選手も出場し、男子体操では橋本大輝選手が個人総合と種目別鉄棒で金メダル・団体で銀メダルを、ボクシングフライ級では並木月海選手が銅メダルを獲得しました。

コラム・記憶の扉 5

新生成田市場

令和4年1月に空港隣接地の天神峰に移転開場した成田市公設地方卸売市場。農水産物の加工や海外への輸出に必要な手続きを市場内で完結することができる「ワンストップ輸出拠点機能」を備えていることから、海外への輸出を迅速に行うことができます。また、現在整備中の圏央道や東関東自動車道のインターチェンジにも近く、国内の食品流通拠点としても最適な立地です。



123成田山車まつり 市内の山車・屋台が成田山表参道に集結し、曳き廻しが行われる **4NHK交響楽団成田公演** 日本を代表するオーケストラが国際文化会館で演奏 **9「空の港のありがとう」上映会&JAL・ANAトークイベント** 成田市出身のYuki Saitoさんが監督を務めた、成田空港が舞台の短編映画を上映し、航空会社社員が空の仕事の魅力を紹介 **67台湾・桃園市との野球交流事業** 市内の中学生選抜チームと、桃園市の中学生チームが対戦。元プロ野球選手による野球教室も **8さつまいもマルシェ** 本市の特産品サツマイモのおいしさを成田山表参道でPR **91011[ANA×成田市]特別デカール機のお見送り** 70周年記念ロゴマークを施した機体が就航。初便の見送りにには小泉市長やうなりくん、ANA社員らが駆け付ける **12成田太鼓祭** 全国から58チーム約1,500人が参加した、日本屈指の太鼓の祭典 **1314eスポーツサマーフェスタ** 年齢・性別・障がいに関わらず楽しめるeスポーツ大会をイオンモール成田で開催 **151617JR成田駅前イルミネーション点灯式** JR成田駅参道口駅前広場で、色鮮やかなイルミネーションが一斉に点灯

成田市制施行70周年記念事業

市制施行70周年を記念して、さまざまな記念事業を実施してきました。祭りやスポーツのほか、航空会社の協力を得て行われたイベントなどで、市民の皆さんと一緒にこの節目を祝い、盛り上がりました。





①②③第82期将棋名人戦 七番勝負 第2局 成田山新勝寺光輪閣で、藤井聡太名人と豊島将之九段が対局 **④子ども宇宙プロジェクト** 子どもたちが書いたメッセージをロケットで打ち上げ、12月に国際宇宙ステーションの宇宙飛行士へ届ける **⑤MY FAVORITE NARITA** JR成田駅にブースを設置し、成田市の好きなお店や思い出を書いたカードを掲示 **⑥ご当地キャラ成田詣** 全国のご当地キャラが成田山新勝寺大本堂にお参り **⑦成田伝統芸能まつり春の陣** 「歌舞伎のまち成田で出会う日本の伝統」をテーマに、成田山総門前などで開催 **⑧成田祇園祭** 成田の夏の風物詩。山車・屋台の曳き廻しや、総踊りなどが行われた **⑨関東の山車人形と成田祇園祭展** 関東各地の山車人形や歴代の成田祇園祭のポスターを展示 **⑩成田ラグビーフェスティバル** 明治大学対同志社大学の試合観戦や競技の体験、トークショーを通してラグビーに親しむ **⑪成人式** 20歳の若者1,052人が出席し、成田空港で新たな一歩を祝う **⑫新・BS日本のうた公開収録** 五木ひろしさんや美川憲一さんなどが名曲を披露 **⑬成田伝統芸能まつり秋の陣** 市内外の伝統芸能団体がステージを披露。70周年を記念し台湾・桃園市と島根県石見神楽も出演 **⑭⑮⑯⑰【JAL×成田市】ボーイング社工場見学ツアー** 市内在住の高校生が参加し、飛行機の製造過程や航空博物館を見学



成田市制施行70周年記念事業一覧

月	日	事業名
1月	1日	新春航空安全祈願祭
	1日～14日	新春書道・華道展
	4日～	ご当地ナンバープレート（記念仕様）の交付
	7日	成人式
	8日	日本中央競馬・成田特別
	20日・21日	消費生活展
	20日～3月1日	いわむらかずお絵本原画展
	21日	環境講演会
	27日	書き初め大会
2月	8日	NHK 新・BS日本のうた（公開収録）
	10日	さつまいもマルシェ
	10日	地域包括ケア講演会
	11日	日本の伝統～邦楽の調べ～
	11日	消防出初式
	17日	多文化交流フェスティバル
	17日～3月3日	成田の梅まつり
	23日	成田市御案内人十三代目市川團十郎白猿監修 成田市歌舞伎講座
	23日～	【ANA×成田市】特別デカール機就航
3月	25日	高橋克典&豊田チカwith木住野佳子ピアノトリオ JAZZ LIVE
	3日	NHK交響楽団 成田公演
	9日	宮本笑里ヴァイオリン・リサイタル
	10日	歌おう「第九」in NARITA
	20日	奥華子弾き語りコンサート
4月	31日～	JR成田駅前イルミネーション
	14日～	不動の大井戸茶会
	20日・21日	成田太鼓祭
	23日・24日	第82期将棋名人戦七番勝負第2局
	26日	シニア健康カレッジ10年記念大会
	27日～5月6日	NARITAスポーツツーリズムフェス!
	28日	成田山車まつり
	28日	中学生歌舞伎講座
	28日～5月17日	浮世絵と小幡春生日本画の合戦絵巻展
5月	9日～15日	青木真次自選展
	11日	平和大塔まつり奉納総踊り
	14日	なりたいいきいき百歳体操10年記念大会
	25日	むすめかぶきと伝統芸能
	25日・26日	成田伝統芸能まつり春の陣・ご当地キャラ成田詣
6月	1日～7月7日	関東の山車人形と成田祇園祭展
	1日～9月29日	市内小中学生のプール無料開放
	2日～23日	宗吾霊堂紫陽花まつり
	9日	イースタン・リーグ公式戦成田スカイシリーズ
	20日～	【Peach×成田市】特別デカール機就航
7月	23日	成田ラグビーフェスティバル
	23日	市制施行70周年記念特別講演会とシンポジウム
	5日～7日	成田祇園祭
	6日	成田祇園祭特別講演会
	12日～8月28日	成田うなぎ祭り
8月	15日	手裏剣コンサート
	21日～25日	【JAL×成田市】飛行機の聖地!ボーイング社エバレット工場に行く 3泊5日アメリカツアー
	30日～8月1日	【Peach×成田市】真夏の大冒険 奄美大島親子体験ツアー
8月	3日	生涯学習講演会
	3日・4日	台湾・桃園市との野球交流事業
	10日・11日	バルーンであそぼう Jungle Party
	11日	下総ふるさとふれあい納涼まつり
	17日・18日	eスポーツサマーフェスタ

月	日	事業名
8月	18日～24日	共生社会ウィーク
	21日	中学生議会
	23日	成田空港地域映画「空の港のありがとう」上映会&JAL・ANAトークイベント
	30日	十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業 成田公演
9月	1日～30日	なりたオレンジプロジェクト
	14日	ファミリーコンサートin玉造
	14日・15日	成田伝統芸能まつり秋の陣
	22日	岸谷香コンサート
	24日～10月31日	らっこたんタイピング大会
10月	27日	歌謡コンサート
	29日～11月10日	市民文化祭
	3日	人生カッコよくプロジェクト特別講演会
	5日	文学講座
	6日	ジェット機との綱引き大会
	6日	スタインウェイを弾いてみよう!
	6日～12月1日	ぐるなりスタンプラリー
	12日	夢に向かってキックオフ 元サッカー・フットサル日本代表によるサッカー教室
	12日	成田スポーツフェスティバル
	12日	鉄道の日イベント
11月	14日	【ANA×成田市】特別遊覧フライト
	16日	青少年音楽祭
	19日・20日	健康・福祉まつり
	19日・20日	成田弦まつり
	25日～27日	公民館まつり
	26日	ちば自治会地域サミットin成田
	2日	成田市制施行70周年記念式典
	2日	NARITA花火大会in印旛沼
	4日	うなりくん型ポストお披露目式
	7日	スクールコンサート
12月	9日	シルバニアファミリーミュージカル
	9日～24日	成田山公園紅葉まつり
	14日～12月15日	江戸琳派雅号「雨草庵」継承 伊藤哲作品展
	16日・17日	産業まつり
	17日	成田POPラン大会
	23日	大栄ふるさとふれあいまつり
	24日	男女共同参画講演会
	30日	成田空港スペシャルバスツアー
	1日	市史講座
	5日～13日	成田ココロつながる作品展
その他	14日・15日	NARITAクリスマスマルシェ
	15日	NHK交響楽団員による弦楽四重奏コンサート
	22日	中村中コンサート
		成田市制施行70周年特別応援大使
		ふるさと納税返礼品事業(成田市制施行70周年応援大使)
その他		メモリアルTシャツの販売
		こども宇宙プロジェクト
		オリジナル フレーム切手販売
		ふれあいコンサート
		スカイタウンコンサート
		男女共同参画セミナー
		成田楽市
		成田市場地産地消グルメフェア
		MY FAVORITE NARITA
		広報なりた写真掲載企画
		シリーズ成田市70年(広報なりた)
		成田市制施行70周年記念動画
		成田市制施行70周年記念誌



①②③④【Peach×成田市】真夏の大冒険 奄美大島親子体験ツアー 市内の小学生と保護者が現地の自然・文化を体験。成田＝奄美線で就航している特別デカール機を使用

基本テーマ

「人を繋ぐ 歴史を繋ぐ 未来へ繋ぐ みんなの成田」

「空港により世界の人々とつなげ」「これまでの成田の魅力を引き継ぎ」「次の10年に向けて前進していく」という3つを並べ、70周年の成田をみんなでつくり、愛着がさらにわくようにという思いを「みんなの成田」で表現しました。

ロゴマーク

飛行機としての「うなりくん」をメインに置き、「飛躍」を表現。70周年の「7」には7色の虹を組み込み、「世界との架け橋」や、「多様性や共生社会」をイメージさせることで、多くの人が訪れる成田市にふさわしいモチーフにしました。



⑤メモリアルTシャツを販売 ⑥ご当地ナンバープレート（記念仕様）を交付 ⑦オリジナルフレーム切手を販売



未来につなぐ

昭和29年から令和6年まで、時代が移
さんの笑顔がいつも輝いていました。
ちであり続けるように、次の世代にそ

みんなの笑顔

り変わる中でも、成田市には市民の皆
成田市が、これからも笑顔あふれるま
の笑顔をつないでいきます。





市章

成田市の頭文字「N」を人の姿に重ね合わせたイメージをデザインし、四肢の伸びは躍動感と疾走感、中央の赤は成田市民の熱い情熱、「NARITA」は日本と世界との交流拠点としての国際空港都市を表し、成田市の明るい未来への飛躍とさらなる繁栄への願いが込められています。
(平成18年4月29日制定)



市の木／梅

千葉国体の記念事業の一環として「成田市の木」を一般公募し、「梅」を指定しました。
(昭和46年4月指定)



市の花／アジサイ

市制施行40周年を記念して成田市のシンボルとなる花に、誰もが親しみやすく栽培しやすい「アジサイ」を指定しました。
(平成6年4月1日指定)

成田市民憲章

(昭和46年11月3日制定)

信仰のまち、世界に通ずるまち成田はわたくしたちのふるさとです。

ゆたかな自然と文化にめぐまれてきたわたくしたち成田市民は、大きな希望と誇りをもって世界に伸びようとしています。

わたくしたちは、成田のかがやかしい発展とおたがいのしあわせをねがい、この市民憲章をさだめます。

一 親切な心で

平和な成田をつくりましょう。

一 よろこんで働き

豊かな成田をつくりましょう。

一 きまりをまもり

住みよい成田をつくりましょう。

一 自然と文化を大切にし

美しい成田をつくりましょう。

一 若い力をそだて

明るい成田をつくりましょう。

成田市 公式SNS



Facebook



X



Instagram



LINE



YouTube

成田市制施行70周年記念誌

「軌跡 —成田市70年のあゆみを未来へ繋ぐ—」

発行年月／令和6年11月

発行／成田市企画政策部広報課

〒286-8585 千葉県成田市花崎町760番地

0476-22-1111(代表)

制作／株式会社エリート情報社



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。